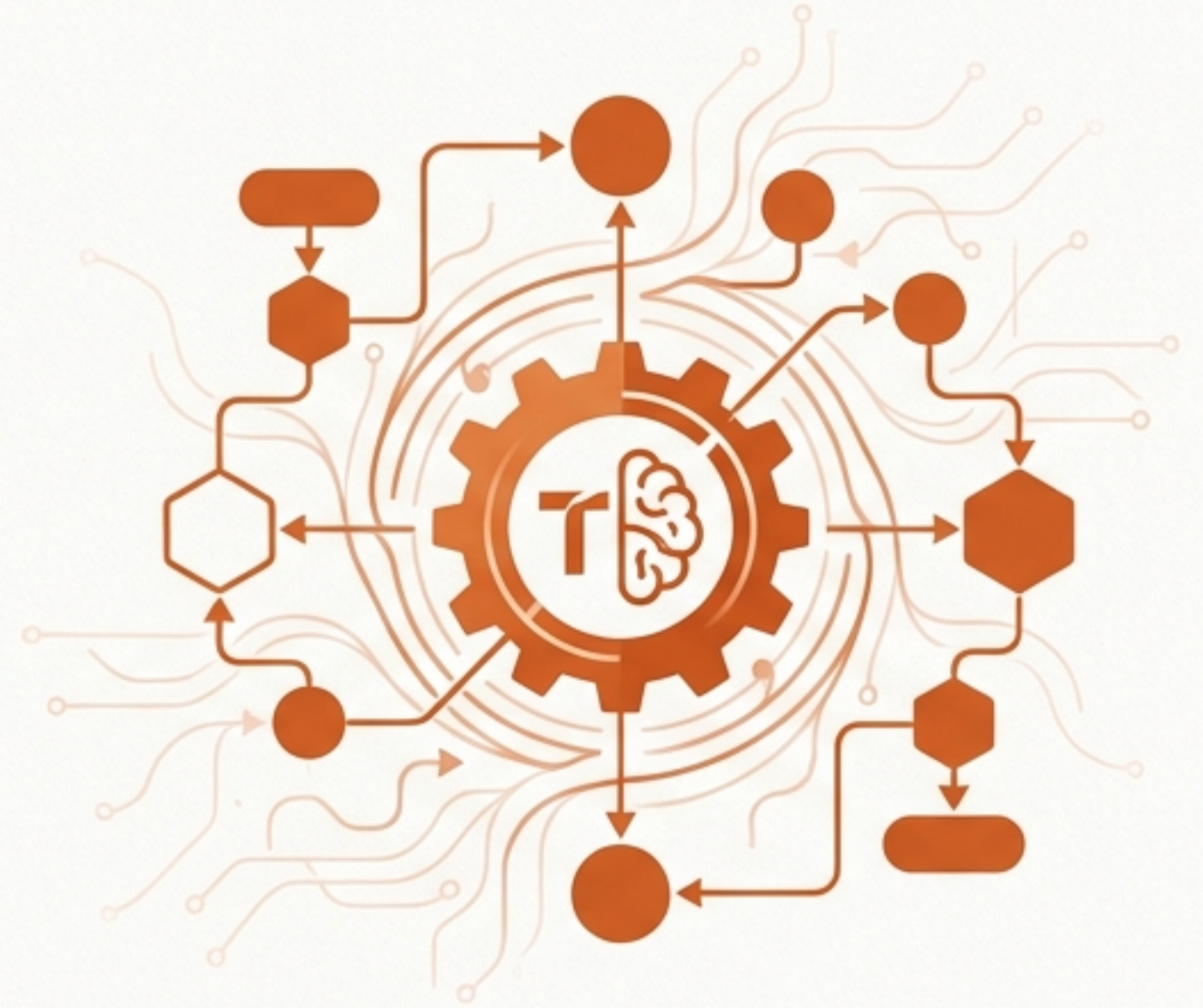




知財インテリジェンスの覇権争い： Patsnap Eureka vs. Tokkyo.Ai

2026年、AIエージェント時代の「信頼」を巡る二つの解答

第4の革命：検索エンジンから「自律型エージェント」へ



知財ツールは「情報の網羅性」を競う時代から、AIが文脈を理解し意思決定を支援する時代へ移行した。2026年現在、単なるチャットボットではなく、**タスクを自律的に遂行する「AIエージェント」**が市場の最先端に位置する。

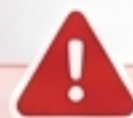
汎用LLMが抱える「信頼」のクライシス

The Problem

問題点



汎用的な生成AI（ChatGPT-o3やDeepSeekなど）は強力だが、知財実務においては致命的なリスクを孕んでいる。



- リスク要因：ハルシネーション (もっともらしい嘘) とブラックボックス化
- FTO調査の致命傷：リコール率0%~25%という危険なスコア

The Solutions

解決策



数字で証明する
「定量的アプローチ」

Patsnap

Tokkyo.Ai

プロセスを見せる
「定性的アプローチ」



Patsnapの解答：数値による「精度の証明」



2026年1月発表 業界初標準

イニシアチブ



業界初の知財特化型AI評価グローバルスタンダード。「高精度」という曖昧な宣伝を廃し、客観的数値で保証。

Ground Truth (正解データ)



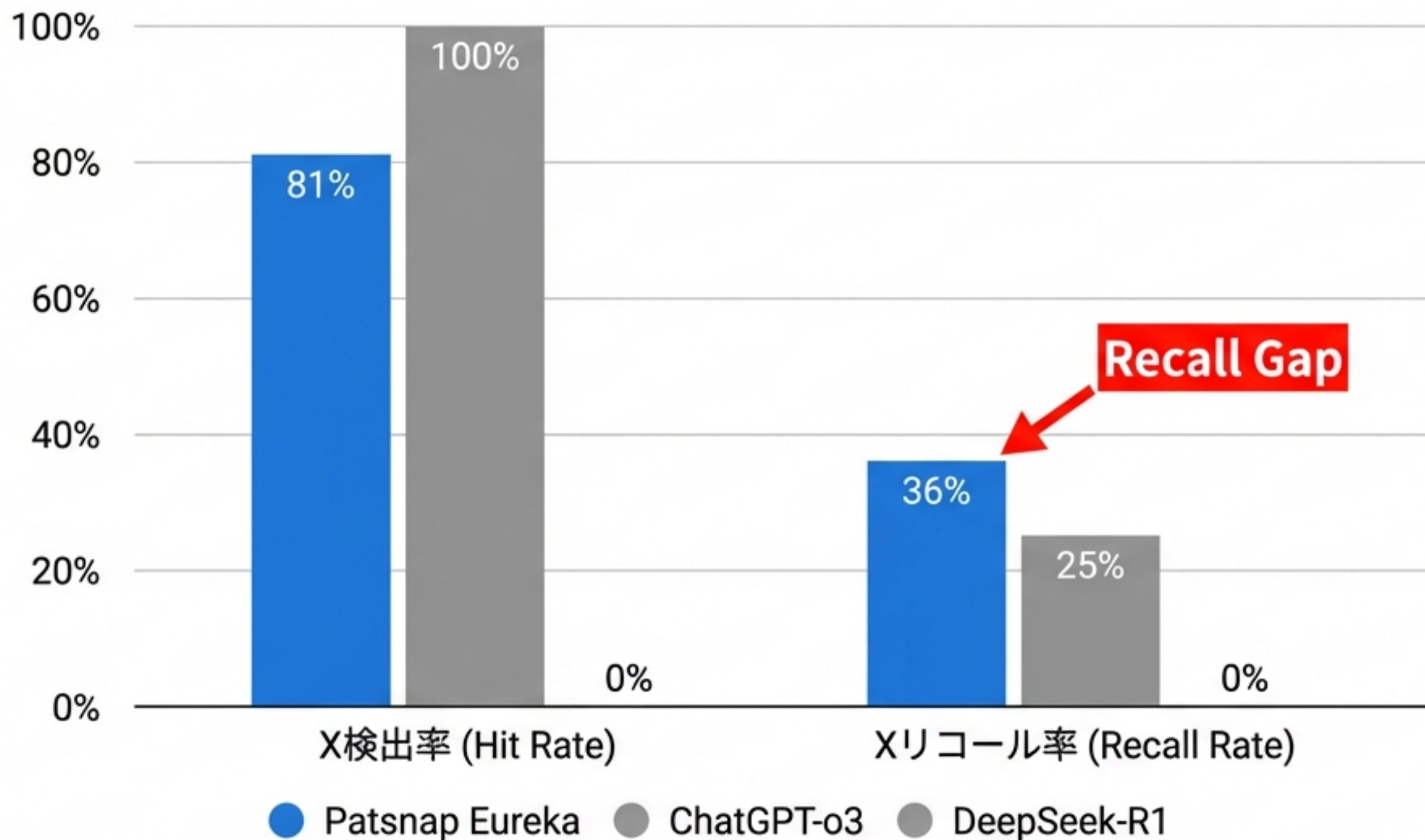
USPTO/EPO/CNIPAで審査完了した340件の特許ファミリーを採用。審査官引用の「X文献」を正解とする。

公平性の担保



特定の技術分野に偏らないよう、言語・IPC分類を厳格に調整。英語68%、中国語32%。

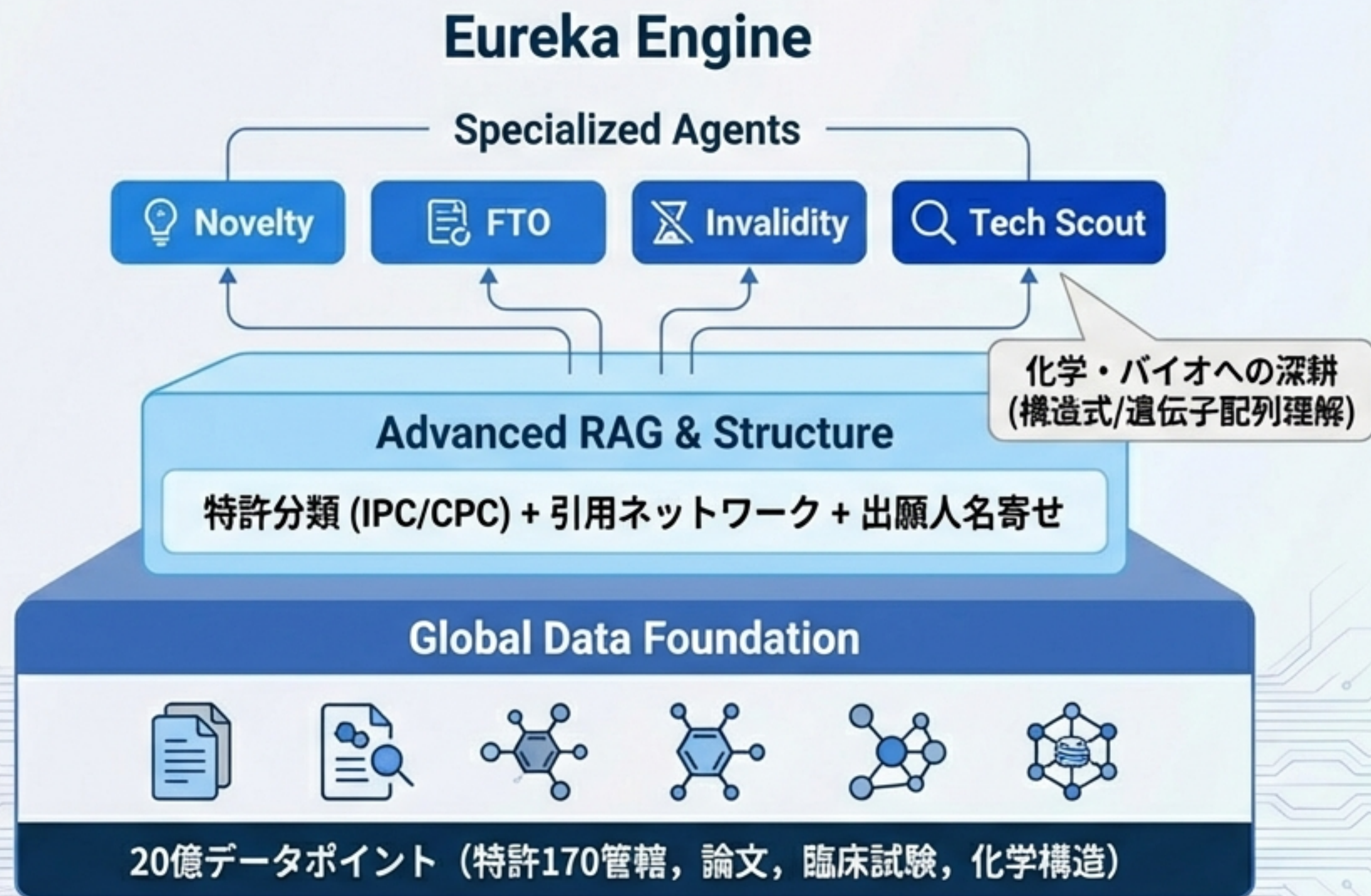
圧倒的な実力差：Patsnap Eureka vs 汎用LLM



Key Takeaway

「1件見つかる」と「すべて見つかる」は違う。汎用AIは最大25%のリコール率にとどまり、DeepSeek-R1に至っては0%の事例もある。数十億円の損害賠償リスクに直結するFTO調査において、Patsnapは安全性を数値で示した。

精度を支えるエンジン：20億データの構造化



単なるテキスト検索ではなく、構造化データをシグナルとして利用。目的別エージェントが分解・拡張・スクリーニングを自律実行する。

Tokkyo.Aiの解答：プロセスの「完全な可視化」



結果だけ提示
(根拠不明)

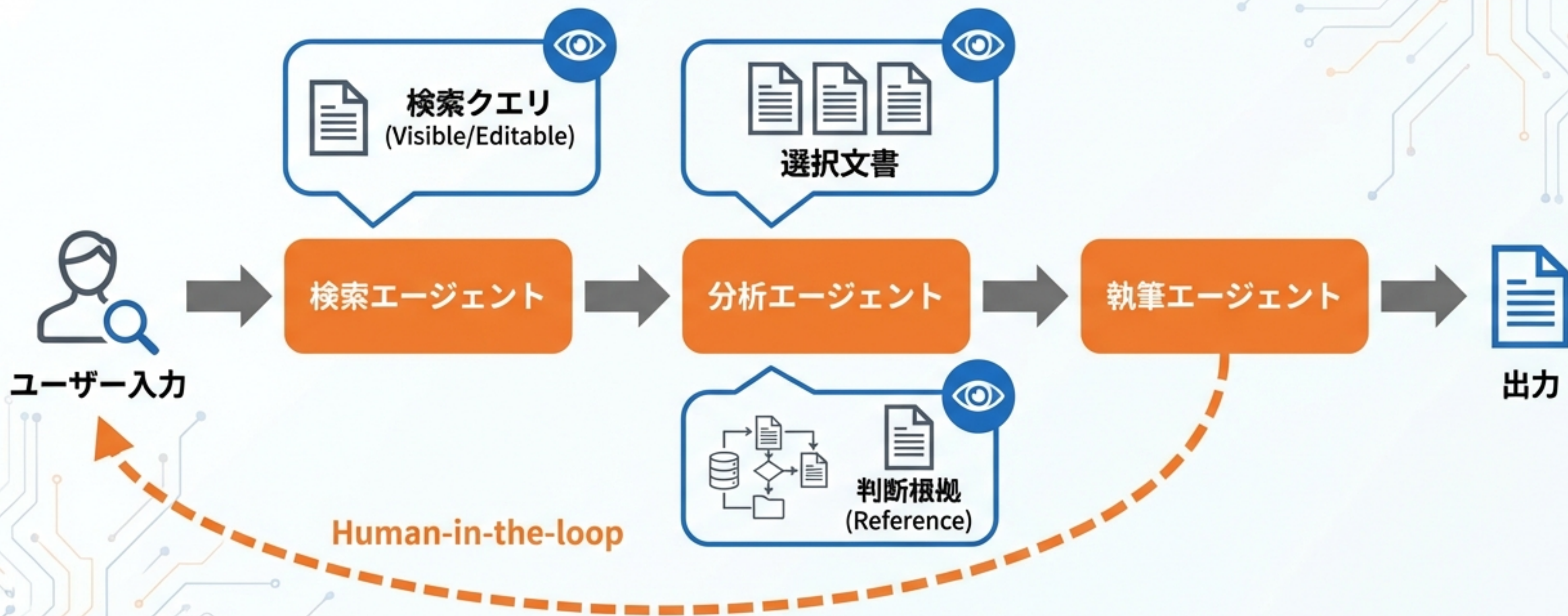
VS.



Glass Box
(思考プロセスの開示)

「結果だけ」を提示されても、人はAIを信じきれない。Tokkyo.Aiは、AIをブラックボックスから解放し、検索式・読んだ文献・判断根拠をすべてユーザーに開示する「Deep Research (2025年12月実装)」を採用した。

ディープエージェントの協調動作



ユーザーはAIの思考過程を検証し、その場で軌道修正が可能。
「答えを出す機械」ではなく「一緒に考えるパートナー」。

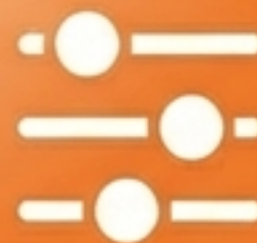
数値ではない「実務効率」という指標

Tokkyo.AiにはPatentBenchのような対外スコアは存在しない。
彼らの戦場は「現場の効率化」である。



**工数削減
60～90%**

発明提案書作成からドラフト
まで。物流ロボット企業等の
導入実績。



**ULTRA
アップデート**

ユーザーによる重み付け
(Weighting)。AI任せにせず
重要語句を指定。



**プライベート
クラウド**

社外秘データ（技術メモ・日報）
を安全な閉域網で学習・検索。

比較分析：信頼への二つのアプローチ

	Patsnap Eureka	Tokkyo.Ai
評価モデル (Evaluation Model)	 定量的 (Quantitative) - X検出率81%の客観的エビデンス	 定性的 (Qualitative) - 思考プロセス可視化による納得感
AIの役割 (Role of AI)	 The Executor (代行者) - 最速・最高精度で結果を出す	 The Copilot (パートナー) - プロセスを共有し共に考える
懸念点 (Weakness)	 ブラックボックスへの不安	 数値保証 (ベンチマーク) の不在

データ範囲とターゲット領域の違い

Patsnap: Global Innovation

- 全世界の特許・論文・臨床試験
- Target: グローバルR&D部門
- Bio/Chem/Uniデータの統合

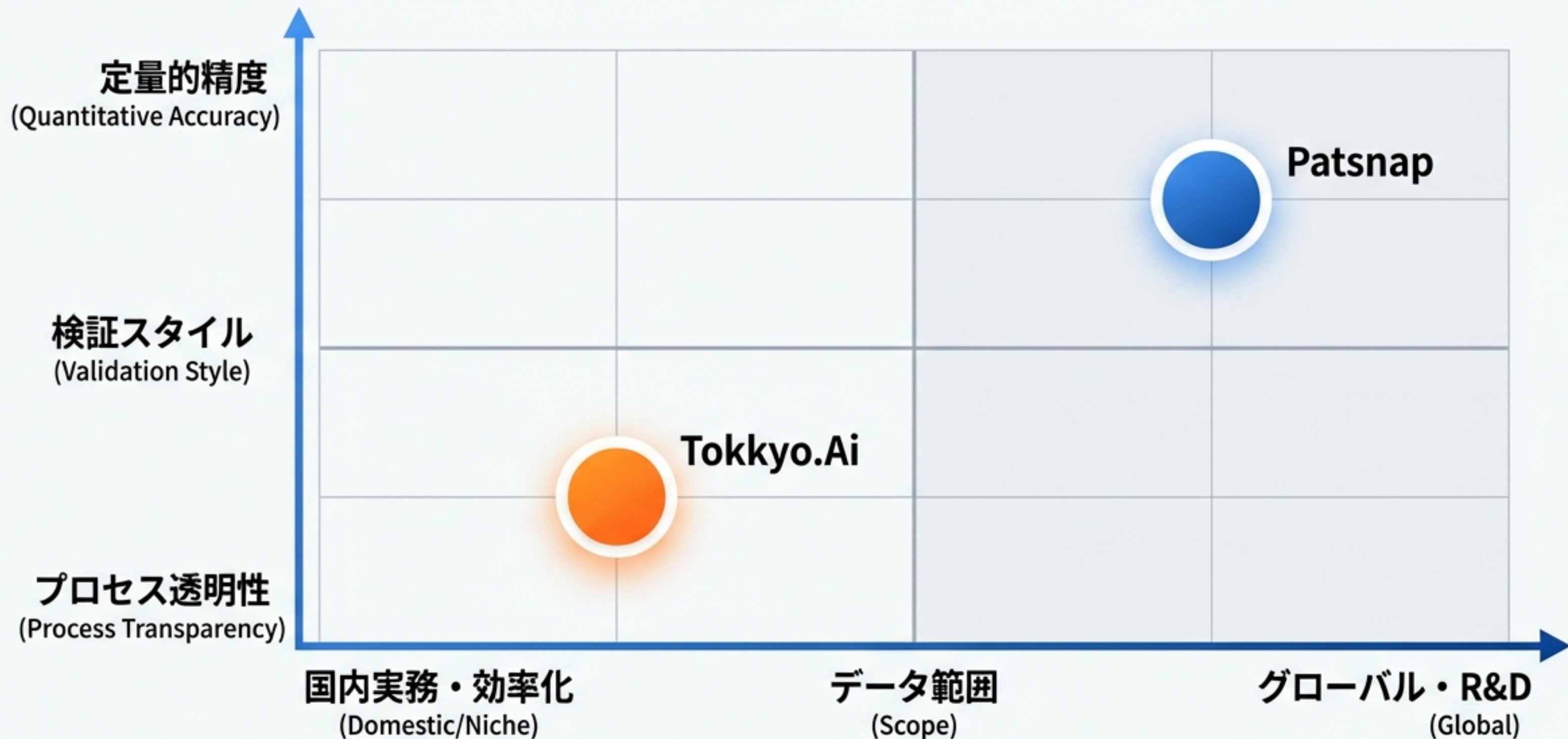


Tokkyo.Ai: Domestic Practice & Security

- 日本語のニュアンス理解
- Target: 日本企業知財部・現場
- Unique: プライベート特許検索
(内部データ活用)



戦略的ポジショニングマップ



ユーザーが重視する軸によって、選ぶべき「最強のツール」は異なる。

コストと導入のハードル



Patsnap: エンタープライズ投資

- 高機能・高価格帯。営業経由での導入。
- ROI = リスク回避（訴訟防止）
+ 開発期間短縮



Tokkyo.Ai: 知財の民主化

- 月額2万円～。Webから即導入可能。
- 中小企業、個人弁理士、部門単位での
スモールスタートに最適。

意思決定フレームワーク：どちらを選ぶべきか？

あなたの最優先事項は？

漏れないFTO
化学・バイオ
グローバルR&D

プロセスの透明性
日本語実務
内部データ秘匿

Patsnap を選択

ゼロフェイルの精度と客観的エビデンス

Tokkyo.Ai を選択

思考の可視化とコストパフォーマンス

結論：組織の「信頼文化」に合わせた選択を

2026+

Tokkyo.Ai
Patsnap

Tokkyo.Ai
Tokkyo.Ai

機能の収束 (Convergence)

Patsnapは「最強の検索代行者」。
データドリブンな意思決定を信じる組織へ。

Tokkyo.Aiは「最高の思考パートナー」。
プロセスと対話を重視する組織へ。

重要なのはツールそのものではなく、自社の課題が「調査漏れの恐怖」なのか
「ブラックボックスへの不信」なのかを見極めることである。